

B 6

964



吉川政興編輯

日本地理初歩全

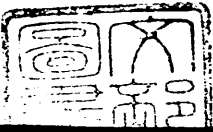
明治七年齊真福樓藏版



日本地理初歩

第一回

吉川政興 編輯



帝國大日本ハ亞細亞ノ東ニ在リテ獨立シ四座

ノ大嶋ト數多ノ小嶋ニシテ中央ノ至大ナルヲ

本州ト云ヒ其南ナルヲ四國ト云ヒ又其西ナル

ヲ九州ト云ヒ北ナルヲ蝦夷ト云フ

緯線赤道ノ北三十一度ニ起リ四十五度ニ至ッ

テ止ル

經線英吉利ノグリーンヤチ編東百二十九度ニ

日本地理初歩

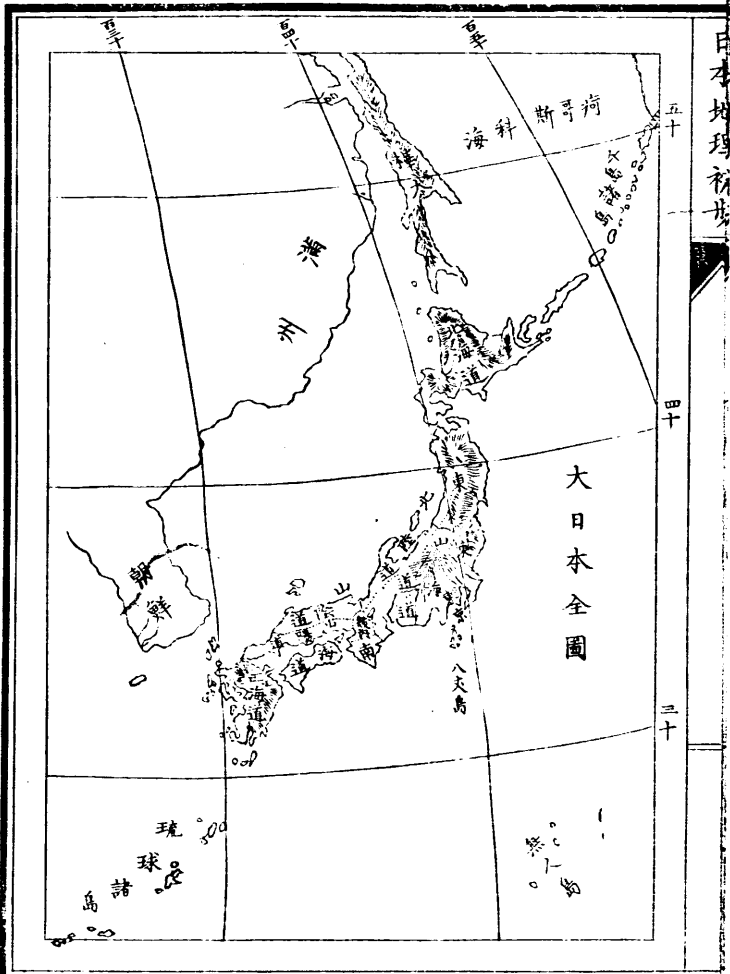
起り百四十五度ノ間ニ至ッテ止ル  
其國四圍皆水ニシテ東南ノ二面俱ニ太平洋ニ  
臨ミ西ノ方纔ニ海ヲ隔テ、支那、朝鮮ト相對ス  
北ハ西北利亞ニ接シ、府哥斯科海ニ限ル  
地形ハ東北ヨリ斜ニ西南ニ長ク其經凡五百里  
其幅最モ狹クシテ三十里ヨリ六十里ニ至ル  
周圍凡ソ二千零五十二里餘  
面積凡ソ二萬三千二百八十六方里餘  
戸數七百零八萬三千零二十八軒  
人員三千三百一十一萬人餘

斛萬三千百六十二萬斛餘

北海道除之

第二回

全國ヲ九部ニ大別シ之ヲ畿内八道ト為ス本州  
東ノ方海ニ界ヒテ連接スル國ヲ東海道トナシ  
北ノ方北海ニ面スル國ヲ北陸道トス其西道ノ  
中間ニ挾ッテ北海ニ延ビ出ス國ヲ東山道トナ  
ス此三道ノ西南ニアル國ヲ畿内トス其西、日本  
海ニ濱スル國ヲ山陰道トナス又其背ニ浴フテ  
内海ニ交ル國ヲ山陽道トナス畿内ノ南海中ニ  
突出シタル國及ビ四國ヲ合セテ南海道トナス



九州ヲ一圓西海道トナシ又西海ノ中ニアルヲ  
 二嶋ト云フ而シテ最北隅ニアル國ヲ蝦夷ト云  
 フ近歲之ヲ十一國ニ分チ改テ北海道トナス

第三回

東海道之ヲ分ツテ十五國ト為ス

- |    |    |    |    |    |    |
|----|----|----|----|----|----|
| 武藏 | 安房 | 上總 | 下總 | 常陸 | 相模 |
| 伊豆 | 甲斐 | 駿河 | 遠江 | 參河 | 尾張 |
| 志摩 | 伊勢 | 伊賀 |    |    |    |
- 畿内ヲ五國トナス

- |    |    |    |    |    |
|----|----|----|----|----|
| 山城 | 大和 | 河内 | 和泉 | 攝津 |
|----|----|----|----|----|

東山道ヲ十三國トナス

近江 美濃 飛彈 信濃 上野 下野

磐城 岩代 陸前 陸中 陸奥 羽前

羽後

北陸道ヲ七國トナス

若狹 越前 加賀 能登 越中 越後

佐渡

山陰道ヲ八國トナス

丹波 丹後 但馬 因幡 伯耆 出雲

石見 隱岐

山陽道ヲ八國トナス

播磨 美作 備前 備中 備後 安藝

周防 長門

南海道ヲ六國トナス

紀伊 淡路 阿波 讃岐 伊豫 土佐

西海道ヲ九國トナス

筑前 筑後 豊前 豊後 肥前 肥後

日向 大隅 薩摩

二嶋

壹岐 對馬

北海道ヲ十一國トナス

渡嶋 膽振 日高 十勝 釧路 根室

後志 石狩 天鹽 北見 千嶋

其國數ヲ合算スルトキハ八十四國トナル其他  
樺太ヲ北海道ニ附シ琉球ハ薩州ニ屬ス

國ヲ區畫シテ郡ヲ立テ又コレヲ數部ニ分ツテ  
村トナス

北海道ヲ除クノ外畿内七道ノ内ニ七十三國アリ  
其下ニ六百三十八郡アリ又其下ニ六万三千  
六百六十餘村アリ

北海道十一國ノ内ニ八十六郡アリ其村ノ數ニ  
至ツテハ未ダ詳ナラズ

第四回

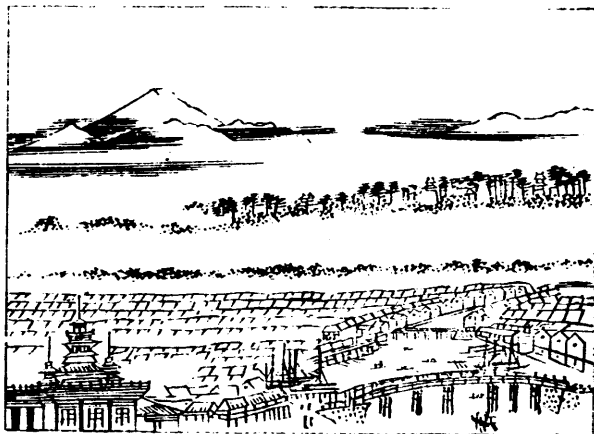
全國ヲ更ニ分ツテ三府六十縣トナス

三府

東京府 京都府 大阪府

東京ハ北緯三十五度四十分東經百三十九度四  
十六分ノ處ニ在リテ武蔵ノ内四郡ヲ管轄ス其  
方四里ニシテ之ヲ六大區九十七小區ニ分ツ其  
戸數十八万五千九百五十七軒人口九十二万四

東 京 之 圖



建築都ヲ美麗ヲ盡シ層樓煉化石ヲ景疊シ街

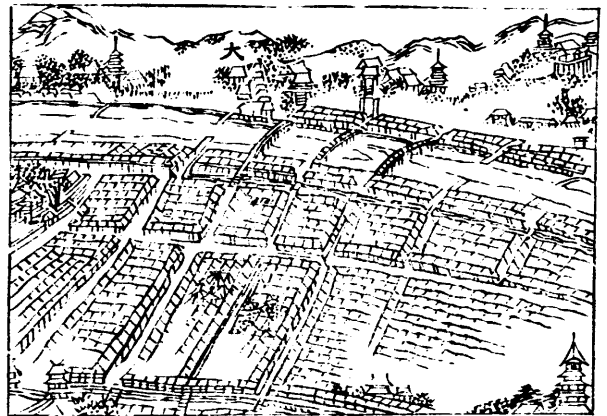
千九百八十人アリテ其  
中央ニ當リ本城アリ方  
今皇居ノ在ル處ニシテ  
萬機皆コレヨリ出ヅ其  
城地鴻大ニシテ内外ニ  
官省ヲ置キ其他學校、醫  
院、幼院、貧院、電機局、驛、速  
司、等ヲ設ケ、鐵道ヲ開キ  
亦製作場多クノ府内ノ

衛清潔ニシ且ツ壯觀ナル社寺教百有リテ士民  
商賈相俱ニ居ス實ニ其大ナル一亞細亞洲中ノ  
一大都會ニシテ彼ノ列邦ニテ未ダ其比ヲ  
見ズ故ニ萬國茲ニ輻輳シ互市貿易益繁盛ニシ  
テ日ニ開化ニ進歩スト云フ

京都ハ在昔桓武天皇ノ延曆十三年都ヲ此地ニ  
遷シ給ヒシ以來歷帝ノ宮地タリシガ今上帝ノ  
明治二年ニ至ッテ都ヲ武藏ノ江戸ニ遷シ給ヒ  
コレヲ東京ト改メ而シテ京都之ニ對シテ西京  
トナス北緯三十五度東經百三十五度五十三分

ノ處ニアリテ山城ノ  
 國一圓ハ及ビ丹波ノ  
 内三郡ヲ管轄ス之ヲ  
 六十九區ニ分ク其都  
 下小ナリト雖モ人口  
 最モ稠密ニシテ概數  
 三十七万四千餘アリ  
 其地四面皆山ニシテ  
 内平坦ナリ國ノ稍北  
 ニシテ皇居アリ府下ノ市街縱横一通達シテ大

西京之圖

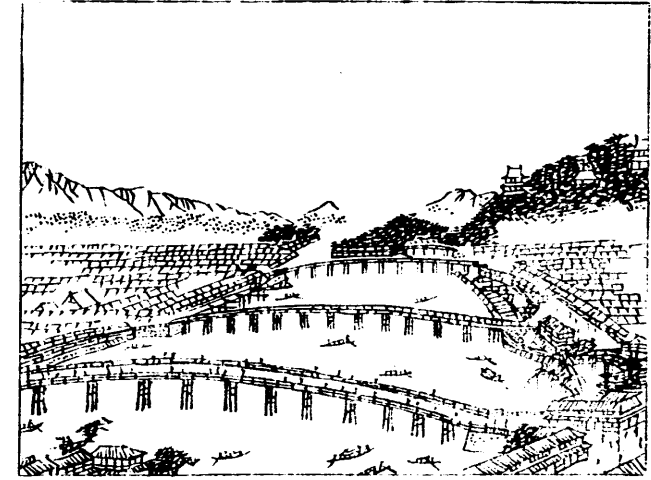


大

道九條アリ其北ニ紫野及ビ加茂兩社アリ鴨川  
 北ニ發シ東ニ來リ南ニ向ヒ終ニ西南ニ流レ淀  
 川ニ合ス東南ノ方ニ祇園社清水寺泉涌寺アリ  
 南ハ伏見ニ稻荷山アリ西ハ北野嵐山アリ其外  
 名勝遊觀ノ地等枚擧ニ暇アラズ  
 大阪ハ北緯三十四度四十分東經百三十五度二  
 十五分ノ處ニアリテ攝津ノ内七郡ヲ管轄ス之  
 ヲ四大區七十小區ニ分ク其府中東京ニ比スレ  
 バ小ナレモ西京ヨリ大ニシテ人口多ク其中ニ  
 大城アリ疊高ク溝深フシテ甚ダ堅固ナリ而メ



大 阪 之 圖



學校アリ造幣寮アリ  
 城ノ南ニ茶臼山安倍  
 野及ビ住吉アリ東ハ  
 今福深江ヲ限リ北ハ  
 天満ニ國今寺及ビ箕  
 面ノ瀧アリ東北ニ當  
 ソテ淀川ノ邊リニ一  
 城アリ高槻ト云フ西  
 ハ船場安治川アリ其  
 河口ノ南ニ天保山ノ

リ寶ニ港内ノ船舶出入最モ繁クシテ亦巨商富  
 豪ノ衆キ下本邦中ニ冠タリ

第五回

六十縣

- |     |    |    |    |
|-----|----|----|----|
| 神奈川 | 兵庫 | 長崎 | 新潟 |
| 埼玉  | 足柄 | 千葉 | 新治 |
| 茨城  | 熱谷 | 椽木 | 奈良 |
| 堺   | 三重 | 度會 | 愛知 |
| 濱松  | 静岡 | 山梨 | 滋賀 |
| 岐阜  | 筑摩 | 長野 | 宮城 |

其制一國ヲ一縣トナスアリ或ハ二三國ヲ併セ	佐賀	福岡	和歌山	岡山	鳥取	新川	酒田	岩手	福島
	白川	三潁	名東	小田	廣嶋	相川	秋田	青森	磐前
	官崎	小倉	愛媛	廣嶋	飾磨	豊岡	敦賀	山形	若松
	鹿兒嶋	大分	高知	山口	北條	鳥取	石川	置賜	水澤

テ一縣トナシ又或ハ一國ヲ二三合ニシテ他縣ニ屬スルモアリ故ニ大低國ト若ケル者多シ而シテ北海道ハ未ダ定マラズ

第六回

嶋嶼ハ大凡三千八百三アリ其内大ナルモノハ佐渡ノ嶋隱岐ノ島壹岐ノ嶋對馬ノ嶋小笠原島一ニ無人島ト云フ又伊豆ニ八嶋アリ肥前ニ平戸及ビ五嶋アリ肥後ニ天艸アリ其他北海道ニ千島アリ琉球ニ諸嶋アリ半島ハ東海道ニ安房伊豆アリ北陸道ニ能登ア

リ西海道ニ肥前アリ北海道ニ渡嶋ノリ其他アリト雖モ皆小ナル者トス

地峽ハ陸前ノ牡鹿峽陸奥ノ北郡衣形ノ二峽羽後ノ塩屋峽能登ノ小竹峽肥前ノ諫早斐津ノ二峽等是ナリ

海峽ハ紀伊阿波ノ間ニ紀伊峽アリ淡路ニ三峽ノリ其紀伊ノ間ニアルヲ苦島峽ト云ヒ播磨ノ間ニアルヲ岩屋峽ト云ヒ阿波ノ間ニアルヲ鳴門峽ト云フ其他伊豫豊後ノ間ニ速吸ノ峽アリ長門豊前ノ間ニ赤間關ノ峽アリ陸奥渡島ノ間

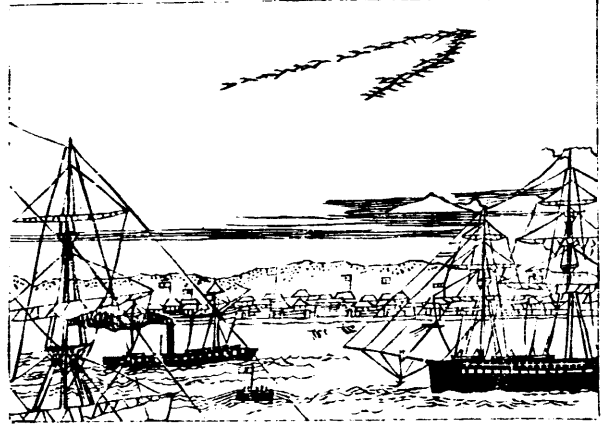
津輕峽アリ北見樺太ノ間ニ知主峽アリ又根室千嶋ノ間ニ一峽アリ

第七回

岬ハ武蔵ノ本牧岬安房ノ洲崎及ビ野島岬上總ノ富津岬下總ノ犬吠岬相摸ノ三岬伊豆ノ伊豆岬遠江ノ尻岬尾張ノ幡頭岬志摩ノ大王岬攝津ノ和田岬陸奥ノ天尻岬竟飛岬羽後ノ鳥井岬絃登ノ珠洲岬丹後ノ鷲岬出雲ノ宇竜岬紀伊ノ沙岬讃岐ノ箱岬伊豫ノ串浦岬土佐ノ松尾岬筑前ノ鐘崎豊後ノ嵯峨關岬日向ノ土肥岬大隅ノ佐

多岬薩摩ノ海門岬渡島ノ夫越岬日高ノ襟藻岬  
 北見ノ知床岬樺太ノ白主岬等ナリ  
 灣ハ東海道ニ品川ノ灣アリ工總ノ灣アリ相摸  
 ノ灣アリ駿河ノ灣アリ伊勢ノ灣アリ畿内ニ大  
 阪ノ灣アリ東山道ニ松島ノ灣アリ津輕ノ灣ノ  
 リハ郎瀉ノ灣アリ北陸道ニ越後ノ灣アリ南海  
 道ニ箱館ノ灣アリ膽振ノ灣アリ根室ノ灣アリ  
 樺太ニ垂尾華ノ灣アリ哈地尾塞ノ灣アリ  
 港ハ大凡三百四十餘口アリ武蔵ノ横濱港攝津  
 兵庫港越後ノ新潟港肥前ノ長崎港渡島ノ箱

横濱港之圖



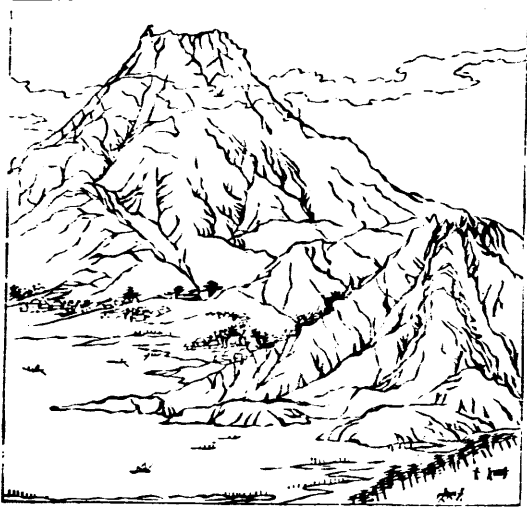
館港コレヲ五港ト云フ其他武蔵ノ品川港伊豆  
 ノ下田港相模ノ浦賀港  
 駿河ノ清水港志摩ノ鳥  
 羽港和泉ノ堺港攝津ノ  
 大坂港安藝ノ廣嶋港豊  
 前ノ小倉港筑前ノ博多  
 港石見ノ濱田港阿波ノ  
 徳島港讃岐ノ丸亀港土  
 佐ノ高知港薩摩ノ鹿兒  
 島港肥前ノ平戸港對馬

ノ竹浦港陸前ノ石巻港陸奥ノ青森港北見ノ宗谷港等ナリ

第八回

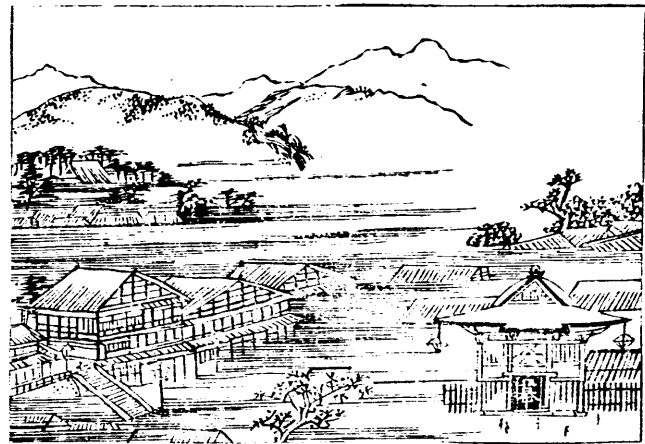
山脈ハ樺太ヨリ起リテ北海道ニ至リ而シテ東山道ヲ經ニ貫キ九州ニ濟リ終ニ琉球ニ止ル其間高山多クシテ最モ著名ナル者ハ駿河ニ富士山アリ次デ下野ノ日光山信濃ノ御嶽山羽後ノ鳥海山越中ノ立山常陸ノ筑波山相模ノ箱根山上野ノ赤城山陸前ノ金華山陸奥ノ岩本山羽前ノ羽黒山月山及ビ湯殿山加賀ノ白山甲斐ノ

富士山之圖



身延山山城ノ比叡山大和ノ芳野山紀伊ノ高野山伯耆ノ大山薩摩ノ海門山後志ノ後志羊蹄山等ナリ○又國內ニ火山多シ越後ノ妙高山信濃ノ淺間山肥後ノ阿蘇山日向ノ霧嶋山渡島ノ駒岳等其他數十座アリ故ニ温泉モ亦從テ多シトス

温泉ノ有名ナル者ハ  
 攝津ノ有馬ノ湯伊豆  
 ノ熱海ノ湯相模箱根  
 ノ湯水ノ湯信濃ノ湯馬  
 ノ湯上野ノ湯加保ノ  
 湯及ビ草津ノ湯下野  
 ノ日光山中禪寺ノ湯泉  
 岩代會津ノ天寧寺ノ  
 湯越後ノ雲母ノ湯紀  
 伊ノ本宮ノ湯等ナリ



第九回

國內ニ川流亦多シサレドモ地勢狭キガ故ニ大  
 河ヲナスニ至ラズ唯リ利根川アリ其源ヲ上野  
 ノ文珠山ニ發シ武蔵常陸ノ境ヲ經テ下總ノ鉞  
 子口ヨリ海ニ入ル水曾川ハ飛彈信濃美濃尾張  
 ヲ經伊勢ノ乘名ニ至リ終ニ海ニ朝ス信濃川ハ  
 水源信濃ニアリテ越後ノ新瀉ヨリ海ニ注グ之  
 ヲ三大河ト稱ス其次阿武隈川ハ源ヲ岩代ノ甲  
 子山ニ發シ磐城ニ界ヒ陸前ニ達ス又武蔵ノ隅  
 田川多摩川相模ノ馬入川陸中ノ北上川羽前ノ

最上川遠江ノ大井川、天竜川、駿河ノ富士川、山越ノ加茂川、宇治川及ビ淀川、紀伊ノ紀ノ川、阿波ノ吉野川、土佐ノ渡川、石見ノ江ノ川、筑後ノ筑後川等アリ、其他北海道ノ三大川トハ、石狩ノ石狩川、天塩ノ天塩川、十勝ノ十勝川ヲ云フナリ。

湖ノ大ナル者ハ、近江ニ琵琶湖アリ、信濃ニ諏防湖アリ、相模ニ箱根ノ湖アリ、下野ニ日光寺禪寺ノ湖アリ、岩代ニ猪苗代ノ湖アリ、又常陸ノ霞浦、下總ノ印旛沼及ビ手賀沼等ナリ。

瀧ハ美濃ノ養老ノ瀧、攝津ノ布引ノ瀧、紀伊ノ那智ノ瀧、信濃ノ米子ノ瀧、下野ノ日光ニ霧降ノ瀧、華嚴ノ瀧及ビ裡見ノ瀧等アリ。

琵琶湖之圖



養老瀧之圖



智ノ瀧、信濃ノ米子ノ瀧、下野ノ日光ニ霧降ノ瀧、華嚴ノ瀧及ビ裡見ノ瀧等アリ。

第十四回

氣候ハ暖帶ノ内ニアルカ故ニ四時正シク温和  
 ニノ大氣最モ清朗ナリ  
 然レ共東海道ノ地ハ春  
 ニ至ッテ風少シク起ル  
 畿内ハ寒温共ニ宜シキ  
 ヲ得東山道ハ寒氣嚴シ之  
 殊ニ奥羽ノ地ハ氷雪  
 多ク而シテ風力甚ダ強シ  
 北陸山陰ノ西道ハ大都



寒國圖

奥羽ニ似タレ共猶寒暑俱ニ勝ツ山陽道ハ地氣  
 静ニシテ風至ッテ少シ南海西海ノ西道ハ暖氣  
 強クシテ夏月頗ル蒸熱酷シトス北海道ハ寒氣  
 意外ニ烈シク其東北ノ國ハ特ニ甚シク冬月ハ  
 大雪降ッテ戶外ニ出ヅルヲ得ズト云フ  
 國中ノ産物極ノテ多クシテ屈指スルニ蝦アヲ  
 バ其最モ主眼トスル者ハ金銀銅鉄礦物米雜穀  
 茶烟草絹生糸木綿諸紙漆器陶器其他植物ニハ  
 木材花卉果實竹類等又動物ニハ飛禽魚貝等而  
 シテ獸畜ハ甚ダ少シトス



政體ハ固ヨリ君主獨裁ニシテ郡縣ノ制ナリト  
 雖モ中古ニ至ツテ政權賴朝ニ歸シ爾米足利氏  
 織田氏次デ豊臣氏及ビ徳川氏皆封建ノ制ヲナ  
 ス維新以來親政ヲ執玉フニ及ンデ再ビ郡縣ノ  
 制度ニ復シ議官ヲ置テ太政ヲ行フト云フ  
 歷年ハ神武天皇ノ即位紀元ヨリ明治七年ニ至  
 ヲテ二千五百三十四年ナリ

日本地理初歩終

日本地理初歩

全一冊

啓蒙習字本

措行草

全三冊

銅鑄國勢袖鑑

全一折

世界都名所圖繪

卷一卷二

二冊出版

條約國史畧

日耳曼之部

二冊出版

南傳馬町三丁目

東京書肆

松本屋龜吉

